

私を語る10の言葉

1 主 題 自分を知ってもらおう

2 主題・教材について

「他者を大切にできる」ためには、まず、自分を大切な存在として受け止めることが必要である。しかし、現実には、自分を肯定的に捉えることができず、他者の存在を受け容れることができない子どもも多い。このような現実を前に、すべての人の人権が尊重される社会を築くため、自尊感情を育む取組は大変重要である。

自尊感情は、自分の大切さに気づき、自分を価値ある存在として尊重し、認める気持ちである。これは、人と人との関わりの中で育まれていくものである。他者に受け容れられることで、自尊感情は高まる。自尊感情が高まることで、他者を受け容れられるようになる。そうした関係を築く取組を意図的に行う必要がある。

この教材は、まず、他者に受け容れられる自分自身をありのままに見つめようとするものである。さらに、ありのままの自分を紹介する活動を通して、受け容れられる心地よさを味わわせたい。また、それぞれの個性やもちあじに気づき、互いに尊重することのできる関係づくりへとつなげたい。

（関連教科・領域：特別活動）

- 3 ねらい
- ・自分自身を見つめ、ありのままの自分を言葉で表現する。
 - ・一人一人の個性やもちあじを認め合い、自他ともに大切にしようとする態度を身に付ける。

4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	絵を見て話そう。		
	・「WATASHI・1～10」の絵を見て、思ったことを話し合う。	・自由に話せる雰囲気をつくる。 ・自分のことについて語り出す雰囲気が生まれたら、そのまま展開へと進める。	
展開	10の言葉で、自分を表現してみよう。		
	・自分を紹介する言葉をワークシートに記入する。	・モデルとして、まず指導者が自分自身のことを語るのもよい。 ・記入時間は、5分程度とする。（クラス全体の3分の2以上が記入できている状態が目安。時間不足の場合は延長してもよいが、集中できていなかったら5分以内でも切り上げる。） ・ワークシートは、後でグループで見せ合うので、知られたくないことは書かなくてよいことを伝え、安心して活動できる雰囲気をつくる。 ・記入できたら、紙を裏返して置いておくよう指示する。	ワークシート
閉	自分を紹介しよう。		
	・自分の書いたことを約3分間でグループの人に伝える。 （進め方） ①1人ずつ紙を見せながら話す。	・グループの人数は4人以下が望ましい。 ・どのような「聴き方」がよいか、事前に子どもたちと話し合っておくこ	

私を語る10の言葉

WATASHI・1	私の誕生日は 月 日 です。
WATASHI・2	私の好きな食べ物は です。
WATASHI・3	私が今、夢中になっていることは です。
WATASHI・4	私が行ってみたいところは です。
WATASHI・5	私が元気になる曲は です。
WATASHI・6	私の特技は です。
WATASHI・7	私の苦手は です。
WATASHI・8	私の一番の思い出は です。
WATASHI・9	私が大切にしているものは です。
WATASHI・10	私の夢は です。

【その他、伝えたいこと、^き聴いてほしいことなど】

名前